

地域のニーズを踏まえた 運営改善の取組について



国立大学法人
福岡教育大学
University of Teacher Education Fukuoka

本学は、地域のニーズを踏まえた幅広い視野での大学運営を行うこととしています。

地域のニーズとして、経営協議会の学外委員、教育委員会の幹部職員、また、公立の連携協力校の長等が構成員となる「教員養成の質向上に関する諮問会議」委員の方などから、本学に対して様々な意見等をいただいています。

その意見等を踏まえた大学運営の改善の取組について一部を紹介させていただきます。

今後とも九州における教員養成の拠点大学として、教育研究活動や社会連携、社会貢献の取組を進めて参りますので、引き続きご支援賜りますようお願いいたします。

意見等の概要	本学の取組状況
--------	---------

1. 学生に対する支援について

【就職支援】

- 教員志望の学生にとっては、採用試験対策等があると助かるのではないか。
- 教員志望以外の学生への就職に関する学内に相談機関があると助かると考える。
- 本人の希望と実際の適性に大きなギャップがある場合、修学支援や就職関係等の相談を通して学生が教師に向くのか、その他の行政等の職種がよいのか、早めに気づくような支援体制や取組が必要である。（諮問会議委員）

【学生支援のための基金】

- 国から交付される運営費交付金が年々減少して行く状況、また、奨学金を受ける学生が増加する中、学内に独自の基金を確保し、学生の修学を支援することは重要である。（経営協議会委員）

- ◆日頃より行う教員採用試験対策の他に、平成29年度からは、学年別に分けた対策講座を行っています。
- ◆教員採用試験への対応として、4名の就職支援アドバイザーを配置し、教員採用試験対策講座の企画・立案から、教員志望への相談対応を行っています。また、教員志望以外の学生に対しては、相談窓口として、就職支援コーディネーターを配置しており、就職相談、面接練習等を行っています。

- ◆福岡師範学校を母校とする卒業生が教育者として、また退職後も社会に貢献する目的で発足した一般社団法人鶴陽会から寄附をいただきました。その寄附金を財源として、平成31年度から「修学支援事業基金」を設け、経済的理由により修学困難な学生に対する修学支援を行います。

2. 社会連携・社会貢献の在り方について

【教員育成指標に基づく研修の在り方】

- 養成、採用、研修に関わるためには、大学、県・政令市教育委員会、地方の教育委員会との間で、教員育成指標を共通理解すべきである。その上で、研修で何が求められているかを教育センター等と協議し優先順位を決めるべきである。（経営協議会委員）

【教育現場で役に立つ実践的な研修】

- 講師対象の研修会の実施が必要ではないか。
- 理論的な内容よりも、授業（学習指導）を通して研修会を開催できる教授等の育成が必要である。自らの実践を基に研修企画しなければ、今後の教員研修は成立しない。
- 教員の研修については、理論も重要ではあるが、現場で役立つ研修が優先されるべきである。障害のある幼児児童生徒の事例研究や授業研究の積み重ねを通した指導力の向上が図れることが重要で、大学院生は附属学校や臨床・指導機関等ともしっかりと関わりがあってもよいのではないか。
- 図工・音楽・パソコンなどの技術面の指導の研修が必要ではないか。（諮問会議委員）

【教育課題に対する研究】

- 教育関係者皆が解答を出しあぐねている、「家庭の貧困や低い文化力を乗り越える学校教育の在り方についての（実践的）研究などにも取り組んでいただきたい。
- 家庭と地域学校との協働という立場から子どもを直接的に育てていく関わり方の研究も進めて欲しい。（諮問会議委員）

- ◆九州地区の各県・政令指定都市の教育行政関係者と、教員養成機能を有する大学の研究者による「九州地区教員育成指標研究協議会」を立ち上げ、情報交換・協議を進めてきました。その後、「九州地区教員養成・研修研究協議会」として継続・拡充し、指標に基づく研修の在り方について、九州各地区の教育行政、大学の研究者による情報交換・協議を進め、この取組を継続発展・恒常化するものとして、「九州教員研修支援ネットワーク」を平成31年3月に立ち上げました。

- ◆平成27年度より、福岡県教育委員会と共催で、京築教育事務所、筑豊教育事務所において、「講師等授業力アップ講座」を実施し、平成28年度から福岡教育事務所でも行いました。平成31年度も、引き続き上記3教育事務所で開催予定です。音楽、家庭科、美術・図工、技術の実技系教科につきましては、福岡教育事務所で開催予定です。なお、「教育現場で役立つ実践的な研修」については、「九州教員研修支援ネットワーク」において検討を進めていきます。

- ◆平成28年度以降、毎年、文部科学省から本学教育総合研究所の研究プロジェクトにおいて、全国学力・学習状況調査の結果の分析やそのあり方の調査研究事業を受託して実施しています。学校や教育行政と連携してこれらの研究事業を進めており、この研究成果として、学校における学力向上の取組に資するツールの開発・発信等を行い、学校現場で活用いただけるようにしています。

【教員に求められる英語力の強化】

- 小学校5～6年生で英語を正式教科となったことを踏まえても、現職教員や学校関係者に対する語学力支援は大変重要になってくる。（経営協議会委員）
- 小学校英語の教科化への対応は現職教員の最大課題といえる。大学をあげて語学力支援等にあっていただきたい。（諮問会議委員）

- ◆2020年度の小学校英語の教科化に向けて、小学校の現職教員が専科教員として英語を指導できるように、平成30年度から平成31年度の2年間をかけて、中学校教諭二種免許状（英語）を取得するために必要な科目を開講する免許法認定公開講座を開設しました。
- ◆平成28～30年度にかけて文部科学省の委託事業として免許法認定講習を開講し、40名の小学校現職教員が、中学校二種免許状（英語）の所要資格を得ることができました。また、引き続き平成30年度から平成31年度の2ヶ年の本学独自の事業として有料とした小学校教員のための免許法認定公開講座（中二種英語）を開講し、現在36名の現職教員が受講しています。平成28年度から学校現場の現職教員の英語力向上に向け、英語習得院の講座に同教員の参加ができるようになり、学生と同じクラスで受講をしています。近隣の複数の教育委員会から参加があり、現職教員の英語力向上に寄与しています。また、平成30年度から福岡県内の小学校、中学校教員向けの1日英会話講座を実施しました。県内の複数の教育委員会から参加があり、英会話学習の動機付けの機会を提供しました。

3. 広報活動の在り方について

【教職員の意識の改善】

- 大学の教職員全員が危機感を持つことだと考える。私立学校では当たり前だが、教職員全員が、自分自身が広報をする必要があるという自覚を持つことである。今や国立大学も安泰ではない時代だということを全教職員が自覚する必要がある。（経営協議会委員）

【学生募集広報の充実】

- ホームページのコンテンツの充実（掲載項目、見易さの充実等）、入試広報の充実（オープンキャンパス、学校訪問者受入れ、学外説明会、高等学校訪問）が求められる。（経営協議会委員）

【学校現場への広報】

- 入試広報において、受験生に響くような効果的な広報活動を行うべきである。そのためには、進学実績に関する入念な分析を行った上で個別に高校訪問を行い、進路指導担当教員とのコミュニケーションづくりを強化することが重要である。（経営協議会委員）

- ◆学外の専門家を招き、全学的な広報研修会を実施しました。教職員一人ひとりが大学を「関心を持って見てもらう」「分かり易く説明する」という広報の考え方にに基づき、広報ビデオの作成、新たな広報ポスター、駅広告の充実など、効果的な広報の取組を進めています。

- ◆ホームページのトップページの可動バーナーに学生募集情報を多く掲載するとともに、オープンキャンパスのほか、高校生の学校訪問の受け入れを行い、大学概要の説明のほか、施設見学、模擬授業の体験などを通じて大学を知ってもらうための取組を進めています。

- ◆副学長を中心に、九州・沖縄の各県、山口、広島、岡山、島根県の中国地方に及ぶ延べ約100校の高等学校を個別に訪問し、本学の魅力を伝えるとともに、学校現場から本学へのニーズを把握するなどして、学校教員を目指す意識の高い学生の確保に向けた広報活動を行いました。

4. 大学の財政状況の改善について

【寄附手続の改善】

- 継続的な寄附金の獲得に向けて、入学・卒業時に、後援会・同窓会へ地道な呼びかけをすることが必要である。（経営協議会委員）

- 寄附金一口の受入設定金額を見直し、その額を下げることにより、継続的な獲得を目指してはどうか。一度寄附いただいた方には、寄附金の執行報告を兼ねたお礼状を送付し、次回の寄附に繋げていくことも重要である。（経営協議会委員）

- ◆入学式及び卒業式で、福岡教育大学基金のリーフレットを配布し、寄附の呼びかけを行っています。併せて、年に1回同窓会から卒業生に対して資料等を送付する際に、同リーフレットを同封し、寄附の呼びかけを行うなどの継続した取組を行っています

- ◆平成29年度より、これまで一口5千円としていた寄附金の受入れ単位を一口千円とし、少額でも寄附が行いやすいようにしました。また、寄附をいただいた方には、お礼状とともに、大学広報誌（joyama通信等）を同封し、本学への関心と理解をより深めていただくようにしています。